

承認番号	2019-037
研究課題名	ディープラーニングを用いた超解像によるマンモグラフィの石灰化評価
研究の意義・目的	超解像とはテレビやカメラなどのデジタル画像の画質を向上させるために開発された技術です。2016年にディープラーニングを用いた超解像が考案され、医療画像への応用が始まっています。マンモグラフィの石灰化は病変を示唆する所見ですが、肉眼で不明瞭なものもあり、検査の精度に関わってくるものです。近年発展しているディープラーニングを用いた超解像を応用することで、乳がんの診断や病変検出の精度を高めることになれば医学的な貢献と意義をもたらすと考えます。
研究を行う期間	承認後-2023年3月31日
研究対象者の範囲	2014年1月1日～2018年12月31日に大阪市立大学医学部附属病院およびMedcity21でマンモグラフィ検査のため受診された方が対象です。
お願いする内容	<p><input type="checkbox"/>大阪市立大学医学部附属病院のみで研究いたします。</p> <p>年齢、性別、撮影日とマンモグラフィ及びその診断結果を研究に使用いたします。</p>
頂いた試料・情報の管理について責任者	大阪市立大学大学院医学研究科放射線診断学・IVR学教室 山本晃
この研究を行っている施設（共同研究機関）	該当なし
代表施設のURL	<a href="https://ocu-radiology.jp/">https://ocu-radiology.jp/</a>
研究の成果を公表する方法	匿名化された個人が特定されない形で、学会発表や論文にて公表を予定します。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への参加を拒否できます。また、研究への参加を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	<p>本条 隆</p> <p>大阪市立大学医学部大学院医学研究科放射線診断学・IVR学</p> <p>大阪市阿倍野区旭町1-4-3</p> <p>電話：06-6645-3831 FAX：06-6646-6655</p>